

|                          |   |
|--------------------------|---|
| ▶青少年健康センター会長からのご挨拶 斎藤 環  | 1 |
| ▶青少年健康センター創立40年を迎えて 時盛昌幸 | 2 |
| ▶会費等報告／2024年度決算報告        | 3 |
| ▶CENTER NEWS             | 4 |

## 青少年健康センター会長からのご挨拶

青少年健康センターは今年で創立 40周年を迎えます。

創立が1985年、私が筑波大学で稲村先生の門下に入ったのが1986年でしたので、ほぼ創立以来関わってきたことになります。「正史」は他の方にお問い合わせとして、この機会に、少しばかり昔の思い出を語ってみようと思います。

稲村門下としての初期の仕事は、いのちの電話との関連でなされていた「富坂診療所」での稲村先生の診察のお手伝い——主にカルテ筆記など——と、北の丸クリニックでの週1回の診療、そして宿泊施設だった青葉台ハウス、小日向ハウスでの診療活動でした。このほか夏のキャンプへの参加などもありました。いずれも今の視点からみても、なかなか斬新な試みだったように思います。

1988年にはじまった「茗荷谷クラブ」の活動も、当時としては画期的なものだったと思います。必ずしもひきこもり限定を謳っていたわけではありませんが、「居場所」や「たまり場」のような活動は当時ほとんど存在せず、またこれほど長期に渡り活動を続けている居場所は私が知る限り存在しません。

しかし、なんといっても思い出深いのは、この当時になされていた宿泊型の施設である「青葉台ハウス」と「小日向ハウス」です。篤志家の方が、海外滞在中に貸与してくださった民家を活用した施設でした。私が主として関わったのは青葉台ハウスの方でしたが、ここには常時6～7人の寮生と、1～2名の常駐スタッフがいて共同生活を営んでいました。入寮に際しては一切の強制はなく、もちろん外出も自由でした。寮生はハウス内でゲームをしたりギターを弾いたりお喋りをしたりと自由に過ごしていました。私の役割は、月に1～2回の頻度で寮生と面談し、必要があれば医療

チェックをすることでした。

稲村先生は、こういう共同生活そのものに効果があると考えていたようで、実際、何人もの寮生がここからアルバイトに通ったり学校に行ったりして社会参加を果たしていきました。残念ながら資金不足もありハウスの活動は数年で終わることになりましたが、今あのような場所があればなあと思うことはしばしばあります。

いずれにしても、私たちがそうした試行錯誤を重ねてきた経験が、今や世田谷区や文京区からの委託事業などに活かされていると思えば、まことに感慨深いものがあります。

私は厚生労働省が今年1月に公開した「ひきこもり支援ハンドブック～寄り添うための羅針盤～」の作成に関わりましたが、その指針は、ひきこもりを個人の問題と考える「病理モデル」から、当事者の環境調整のほうを重視する「社会モデル」を採用しています。思えば青少年健康センターの活動も、最初期から一貫して「社会モデル」の考え方を大切にしてきました。時には治療も行いつつ、家族会や電話相談、ライフプラン相談などで家族に介入し、段階的に当事者の対人環境の改善をはかる。それははからずも、ハンドブックが「目指すべき方向性」として提示した「自律」という理念にきわめて近い考え方と言えます。

青少年支援の最先端を担ってきた青少年健康センターの事業が、未来に向けてさらに発展していくためにも、皆さまからの一層のご支援とご協力を、今後ともよろしくお願いいたします。

公益社団法人青少年健康センター  
会長 斎藤 環

# 青少年健康センター創立 40 年を迎えて

事務局長 時盛 昌幸

## 40年の歴史を振り返って

会員の皆さまならびに日頃よりご支援を賜っております関係者の皆さまには、私どもの活動に対するご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

本年、青少年健康センターは創立40周年を迎えました。青少年健康センターは1985年、いきづらさを抱える若者への支援を目的とし、筑波大学の稲村博先生らによって創設されました。1987年にはグループホームのはしりである「青葉台ハウス」を開設。また、カウンセラー養成を目指した「カウンセラー養成講座」（現「思春期カウンセリング講座」）も同年に開講されました。

1988年には、居場所支援を行う「茗荷谷クラブ」が発足し、現在も当法人の中心的事業として活動を続けています。1998年には、「実践的ひきこもり対策講座」（現「ひきこもりダイアログ講座」）が開講され、当初より会長斎藤環が講師を務め、現在も多くのご家族にご参加頂いております。

2011年には、いきづらさを抱える若者のための電話相談「クリニック絆」（現「電話相談絆」）を開設。2014年には文京区、世田谷区、2016年には台東区、2022年には千代田区からの委託事業を受託しました。2015年には創立30周年を迎え、多くの関係者のご臨席の下、学士会館にて記念式典を執り行いました。

この10年間で事業収益は1.7倍、総利用実績数は1.4倍となりました。2019年末より新型コロナウイルス感染症の影響により、支援事業の一部停止を余儀なくされる時期もありましたが、職員一同の力を結集し、この困難を乗り越え、着実に事業成長を実現することができた10年間であったと振り返っております。

青少年健康センター 事業収益と利用実績の推移



## 50周年を目指して

40年前、まだ「ひきこもり」や「不登校」という概念が社会に浸透していなかった時代に、青少年健康センターはいきづらさを抱えた若者への支援を打ち出し、数々の先進的な取り組みを行って参りました。医師と心理職の連携による支援体制の考え方や、居場所支援のアイディア、グループホームの立ち上げ等、今日では一般的となった支援のあり方を、40年前に構想しそして実現してきたその先駆性には驚きを禁じえません。

このような卓越した構想を持ち、実現するための先人たちによる努力の積み重ねのもと、現在の青少年健康センターがあります。私たちは確かにそのバトンを受け取り、次の世代に引き継いでいくために、より一層の努力を重ねて参ります。引き続きまして、さらなるご指導・ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

## 青少年健康センター 40年間の主な出来事

|       |                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------|
| 1985年 | 青少年健康センター発起人会（代表平野龍一氏）                                      |
| 1987年 | 「青葉台ハウス」開設<br>「カウンセラー養成講座」開設（現「思春期カウンセリング講座」）               |
| 1988年 | 「茗荷谷クラブ」開設                                                  |
| 1990年 | 青少年健康センター社団法人設立認可取得                                         |
| 1995年 | 創立10周年記念シンポジウム、「創立10周年記念式典」開催                               |
| 1998年 | 「実践的ひきこもり対策講座」開講（現「ひきこもりダイアログ講座」）                           |
| 2002年 | 「社会参加準備グループ」活動スタート                                          |
| 2004年 | 会長に齋藤友紀雄氏、副会長に佐藤悦子氏が就任                                      |
| 2010年 | 関川俊男常任理事が副会長に就任                                             |
| 2011年 | 電話相談「クリニック絆」開設（現「電話相談絆」）                                    |
| 2014年 | 内閣府より、公益社団法人への移行の認定を受ける<br>文京区および世田谷区より委託事業を受託              |
| 2015年 | 青少年健康センター創立30周年記念式典開催                                       |
| 2016年 | 台東区より委託事業を受託                                                |
| 2017年 | ひきこもり家族のライフプラン講演会と個別相談会開始                                   |
| 2019年 | 葛飾区より委託事業を受託                                                |
| 2021年 | 齋藤友紀雄会長および関川俊男副会長が役員を退任し名誉会長および名誉顧問に就任、会長に斎藤環氏、副会長に井利由利氏が就任 |
| 2022年 | 千代田区より委託事業を受託                                               |
| 2025年 | 青少年健康センター創立40周年                                             |

# 会費・寄付金・助成金・補助金報告 (2024年11月～2025年8月)

青少年健康センターは大勢の個人の方々のご献金、および団体・企業様の助成金、ご寄付、補助金などによって支えられています。ここに心から感謝申し上げてご報告いたします（敬称略）。

## 【正会員】

伊藤亜矢子 岩佐 壽夫 稲村 優子 菊池 章 倉島 徹 小石 誠二 笹原信一郎 菅原 耀  
高山 智 中島 聡美 西村 秋生 能勢 孝子 日高 正枝 松岡太一郎 眞下 テル 宮田タマ恵  
米沢 宏  
計：380,000円

## 【維持会員】

遠藤幸代子 江頭 樹 生出 美穂 大塚 慶子 荻野 舞 北川由布子 齋藤親一朗 鈴木 邦一  
高橋 章浩 徳江 逸子 藤井 幸子 藤本 純子 平山 喜三 松浦 克 丸山 邦子 匿名16名  
計：310,000円

## 【SW会員】

146名 計：1,375,000円

## 【寄 付】

阿川 早苗 秋葉眞知子 石崎 秀 稲村 優子 生出 美穂 大石 公寿 大井 雄一 小川 千昭  
神田 裕二 小池 伸亮 清水 孝純 鈴木 厚一 常廣 澄子 西岡 務 徳永 威典 廣瀬 令子  
丸山 邦子 丸山 峰雄 水戸部ちず子 山下 保則 山下 正美 山添 博之 匿名6名  
ソフトバンクつながる募金／ヤフーネット募金／住信SBIネット銀行募金  
計：3,808,156円

# 2024年度決算報告 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：円)

| 科 目                      | 当年度         | 前年度         | 増 減         |
|--------------------------|-------------|-------------|-------------|
| I 経常増減の部                 |             |             |             |
| (1) 経常利益                 |             |             |             |
| 1 基本財産運用益                | 0           | 0           | 0           |
| 2 受取会費                   | 840,000     | 780,000     | 60,000      |
| 3 受取補助金等                 | 5,795,103   | 14,969,264  | △ 9,174,161 |
| 寄付金収入                    | 5,558,103   | 14,016,022  | △ 8,457,919 |
| 補助金・助成金収入                | 237,000     | 953,242     | △ 716,242   |
| 4 事業収益                   | 136,944,136 | 122,577,042 | 14,367,094  |
| 公1 引きこもり不登校に対する自立支援事業    | 136,369,636 | 121,825,542 | 14,544,094  |
| 公2 社会参加支援プログラム開催事業       | 0           | 0           | 0           |
| 公3 思春期カウンセリング講座開催事業      | 0           | 0           | 0           |
| 公4 講演会・シンポジウム等の開催、普及啓発事業 | 574,500     | 751,500     | △ 177,000   |
| 公5 青少年自殺予防事業             | 0           | 0           | 0           |
| 5 その他の収益                 | 138,196     | 210         | 137,986     |
| 経常収益計                    | 143,717,435 | 138,326,516 | 5,390,919   |
| (2) 経常費用                 |             |             |             |
| 1 事業費                    | 134,923,250 | 120,781,596 | 14,141,654  |
| 公1 引きこもり不登校に対する自立支援事業    | 125,351,742 | 109,574,917 | 15,776,825  |
| 公2 社会参加支援プログラム開催事業       | 426,025     | 461,389     | △ 35,364    |
| 公3 思春期カウンセリング講座開催事業      | 875,099     | 1,641,830   | △ 766,731   |
| 公4 講演会・シンポジウム等の開催、普及啓発事業 | 4,548,535   | 5,577,246   | △ 1,028,711 |
| 公5 青少年自殺予防事業             | 3,721,849   | 3,526,214   | 195,635     |
| 2 管理費                    | 8,677,796   | 8,424,324   | 253,472     |
| 経常費用計                    | 143,601,046 | 129,205,920 | 14,395,126  |
| 当期経常増減額                  | 116,389     | 9,120,596   | △ 9,004,207 |

# CENTER NEWS

2024年10月～2025年8月（敬称略）

10月

- 茗荷谷クラブ 女子会（月1回）
- 茗荷谷クラブ よつば庵（40代以上の居場所 年6回）
- 台東区講演会「周りを頼れない子たちが笑えるために～サンカクシャの取り組みと若者の声から～」  
講師：寺中湧飛（NPO法人サンカクシャ） 於台東区役所
- 文京区講演会「ひきこもりのご家族の関わり方～ゼロから学ぶ"ひきこもり"へのケア～」  
講師：益田裕介（精神科医） 於文京区民センター
- 茗荷谷クラブ 秋の一泊旅行@岩井海岸
- 板橋区ひきこもり家族教室（月2回）  
講師：井利由利・手塚久美子・倉島徹・内島真木・太齋慧（茗荷谷クラブ職員）

11月

- ひきこもりダイアログ講座（2ヵ月に1回開催）  
講師：斎藤 環（当法人代表理事）
- 青少年健康センター職員総会開催 於世田谷キャロットタワー
- 千代田区講演会「ひきこもりと多様な働き方～ひきこもりながら社会とつながる～」  
講師：山田邦生（株式会社Meta Anchor代表取締役） 於千代田区役所
- ひきこもり家族のライフプラン講座個別相談会 3月まで計4回開催  
講師：畠中雅子（ファイナンシャルプランナー） 於青少年健康センター
- 茗荷谷クラブ スポーツ大会 於教育の森
- 焼き芋大会 於朝霞農園
- 東京都ひきこもり支援従事者研修「居場所実践編実践編」 於茗荷谷クラブ
- 文京区ひきこもり支援従事者養成研修（年3回実施）  
講師：近藤直司（大正大学名誉教授）

12月

- 千代田区講演会「ひきこもりながらも社会とまざること～居場所を見つめ直す～」  
講師：山田邦生（Meta Anchor代表取締役）、割田大悟（ひきこもり当事者グループ「ひき桜」）、倉光洋平（当センター支援管理部長） 於ちよだんごカフェ
- 茗荷谷クラブ クリスマス会 於かるた会館
- 文京区茶話会（年6回開催）  
講師：茗荷谷クラブ職員 於文京区民センター

2月

- 文京区講演会「ひきこもり家族のライフプラン」  
講師：畠中雅子（ファイナンシャルプランナー） 於文京区民センター
- 茗荷谷クラブ 文化祭 於シルクロードカフェ

3月

- 台東区講演会「私が、うちの子が、ほっとできる～台東区のみさまざまな"居場所"～」  
講師：小玉周平（台東区社会福祉協議会） 於台東区役所
- 茗荷谷クラブ 花見&バーベキュー 於朝霞農園

2025年度

4月

- 茗荷谷クラブ 合同ハイキング@高尾山  
メルクマールせたがや 事務所移転

5月

- 茗荷谷クラブ 春旅行@長瀬
- 台東区講演会「10年間のひきこもりからの再出発」  
講師：山添博之（ひきこもり当事者） 於台東区役所
- 社会参加講座「ディースタANDARD株式会社見学会」 於ディースタANDARD株式会社

6月

- 文京区講演会「『タフラブ 絆を手放す生き方』について」  
講師：信田さよ子（公認心理師・臨床心理士） 於文京区民センター

7月

- 茗荷谷クラブバザー 於青少年健康センター  
茗荷谷クラブ ゆったりワーク（月1回、地域の内職作業）開始
- 文京区 令和6年度ひきこもりサポーター養成研修「ひきこもりの理解と実際」  
講師：井利由利 於区民会議室
- 社会参加講座「梓にとらわれない『わくわくワーク』の見つけ方」  
講師：濱松文寛（しんじゅく若者サポートステーション）、荻野卓也（株式会社みらい人事） 於青少年健康センター

8月

- 台東区スクールソーシャルワーカースパービジョン  
講師：井利由利 於台東区生涯学習支援センター
- 千代田区ひきこもり支援イベント（映画上映+個別相談会） 於千代田区役所

## 【 訃 報 】

青少年健康センター名誉会長  
齋藤友紀雄 逝去のお知らせ

当法人 名誉会長（前会長）齋藤友紀雄は、かねてから療養中でありましたが、2025年2月25日に永眠いたしました（享年88歳）。3月7日に葬送告別式が行われました。

生前のご厚誼に深く感謝申し上げますとともに、謹んでお知らせいたします。

故人は2004年から2021年まで会長として、2021年からは名誉会長を務めました。1985年の設立以来、40年間にわたり青少年健康センターの活動を支え、発展に尽力いたしました。

我々職員の活動を温かく見守りながら、常に支援を必要とする若者たちのことを考え、法人の運営を指揮している姿が大変印象に残っております。故人の想いを職員一同受け継ぎ、今後ともより一層努力して参りたいと存じます。



30周年式典時（2015）